

令和3年度

大阪府後期高齢者医療広域連合
一般会計・後期高齢者医療特別会計
決算審査意見書

大阪府後期高齢者医療広域連合監査委員

大 広 監 第 2 9 号
令和 4 年 9 月 2 9 日

大阪府後期高齢者医療広域連合長
野田 義和 様

大阪府後期高齢者医療広域連合
監査委員 九鬼 康夫
監査委員 西河 巧

令和 3 年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・
後期高齢者医療特別会計決算審査意見について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 67 号）第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 3 年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計決算書及び証書類その他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
第 5	審査の概要	2
第 6	実質収支に関する調書	8
第 7	財産に関する調書	8
第 8	意見	10
	一般・特別会計決算審査資料	11

(注) 各図表中に用いる金額は原則として表示単位未満を四捨五入している。
比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入している。
したがって、合計と内訳の計が一致しない場合等がある。

第1 審査の対象

令和3年度大阪府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和4年8月1日から同年9月30日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、会計管理者から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等に基づき、決算計数の確認を行うとともに、予算が適正に執行されているかについて、例月現金出納検査の結果等を参考に、必要に応じて担当職員の説明を聴取するなどして審査を実施した。

第4 審査の結果

令和3年度一般会計・後期高齢者医療特別会計の決算について審査した結果、決算計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合して正確であり、予算は適正に執行されていると認めた。

第5 審査の概要

1 決算の概要

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
歳入	1,282,794	1,227,474	55,320	4.5
一般会計	219	198	21	10.6
特別会計	1,282,575	1,227,276	55,299	4.5
歳出	1,238,024	1,165,539	72,485	6.2
一般会計	195	183	12	6.6
特別会計	1,237,829	1,165,356	72,473	6.2
形式収支	44,770	61,935	△17,165	△27.7
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	44,770	61,935	△17,165	△27.7

歳入決算額 1兆2,827億9,400万円

歳出決算額 1兆2,380億2,400万円

決算額は前年比で、歳入額553億2,000万円(4.5%)の増、歳出額724億8,500万円(6.2%)の増であった。

一般会計と後期高齢者医療特別会計を合わせた歳入歳出差引額(形式収支)及び実質収支は447億7,000万円の黒字となっている。

この中には前年度の繰越額619億3,500万円が含まれており、これを差し引いた単年度収支は171億6,500万円の赤字となっている。

2 一般会計

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
予算現額	219	198	21	10.6
歳入	219	198	21	10.6
収入率	100.0	100.0	0ポイント	—
歳出	195	183	12	6.6
支出率	89.0	92.4	△3.4ポイント	—
形式収支	24	15	9	60.0
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	24	15	9	60.0

- ・一般会計の決算額は、歳入2億1,900万円、歳出1億9,500万円で、予算現額に対する比率は、歳入100.0%、歳出89.0%となっている。
- ・前年度比で、歳入2,100万円(10.6%)の増、歳出1,200万円(6.6%)の増となっている。
- ・形式収支及び実質収支は2,400万円の黒字、単年度収支は900万円の黒字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
調定額	219	198	21	10.6
収入済額	219	198	21	10.6
収入率	100.0	100.0	0ポイント	—
不納欠損額	0	0	0	—
収入未済額	0	0	0	—

- ・収入済額は2億1,900万円で、収入率は100.0%となっている。
- ・前年度比で、収入済額は2,100万円(10.6%)の増となっている。

○分担金及び負担金(市町村負担金)は2,100万円の増

○国庫支出金は100万円の減

○繰越金等は100万円の増

- ・繰越金は、歳出(総務費)の財源に充て、歳入(市町村負担金)を減額している。

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
予算現額	219	198	21	10.6
支出済額	195	183	12	6.6
執行率	89.0	92.4	△3.4ポイント	—
不用額	24	15	9	60.0

- ・支出済額は1億9,500万円で、執行率は89.0%となっている。
- ・前年度比で、支出済額は1,200万円(6.6%)の増となっている。

○議会費は100万円の増

○総務費は1,100万円の増

(予備費)

- ・予備費から22万円を充用し、会議室移転に係る追払金の支払いに充てている。

(不用額)

- ・不用額は2,400万円で、前年度比で900万円(60.0%)の増となっている。
- ・内訳は、総務費が1,900万円、予備費が500万円となっている。

3 後期高齢者医療特別会計

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
予算現額	1,294,707	1,218,115	76,592	6.3
歳入	1,282,575	1,227,276	55,299	4.5
収入率	99.1	100.8	△1.7ポイント	—
歳出	1,237,829	1,165,356	72,473	6.2
支出率	95.6	95.7	△0.1ポイント	—
形式収支	44,746	61,920	△17,174	△27.7
翌年度繰越額	0	0	0	—
実質収支	44,746	61,920	△17,174	△27.7

- ・後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入1兆2,825億7,500万円、歳出1兆2,378億2,900万円で、予算現額に対する比率は、歳入99.1%、歳出95.6%となっている。
- ・前年度比で、歳入552億9,900万円(4.5%)の増、歳出724億7,300万円(6.2%)の増となっている。
- ・形式収支及び実質収支は447億4,600万円の黒字、単年度収支は171億7,400万円の赤字となっている。

(1) 歳入

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
調定額	1,283,154	1,228,169	54,985	4.5
収入済額	1,282,575	1,227,276	55,299	4.5
収入率	99.9	99.9	0ポイント	—
不納欠損額	18	129	△111	—
収入未済額	561	764	△203	△26.6

- ・調定額は1兆2,831億5,400万円、収入済額は1兆2,825億7,500万円で、収入率は99.9%となっている。
- ・前年度比で、調定額は549億8,500万円(4.5%)の増、収入済額は552億9,900万円(4.5%)の増となっている。

- 市町村支出金は 35 億 1,900 万円の増
 - ・事務費負担金が 1,900 万円の増、保険料等負担金が 12 億 1,800 万円の増、療養給付費負担金が 22 億 8,200 万円の増となっている。
- 国庫支出金は 56 億 7,400 万円の減
 - ・療養給付費負担金が 44 億 5,200 万円の減、高額医療費負担金が 4 億 9,100 万円の増、調整交付金が 7 億 7,800 万円の減、臨時特例交付金が 7 億 5,400 万円の減、その他補助金が 1 億 8,100 万円の減となっている。
- 府支出金は 28 億 8,600 万円の増
 - ・療養給付費負担金が 23 億 9,400 万円の増、高額医療費負担金が 4 億 9,200 万円の増となっている。
- 支払基金交付金は 133 億 6,200 万円の増
- 特別高額医療費共同事業交付金は 2 億 2,400 万円の増
- 繰越金は 409 億 9,000 万円の増
 - ・繰越金は、過大に交付された負担金等の償還に充てた後、残額は医療給付費準備基金に積み立てを行い、保険給付費の財源としている。
- 諸収入は 800 万円の減
 - ・預金利子が 2,400 万円の減、第三者納付金が 4,700 万円の増、返納金等が 3,100 万円の減となっている。

(不納欠損)

- ・不当利得のうち、資格喪失後受診及び負担割合差額にかかる返還金について、時効を迎えた債権の不納欠損処理を行っている。
- ・また、医療機関等への診療報酬にかかる返還金についても、破産手続が終了した債権の不納欠損処理を行っている。
- ・不納欠損額は 1,800 万円で、内訳は概ね返納金となっている。

(収入未済額)

- ・収入未済額は 5 億 6,100 万円で、前年度比で 2 億 300 万円 (26.6%) の減となっている。
- ・内訳は、返納金が 5 億 4,800 万円、加算金が 1,300 万円となっている。

(2) 歳出

(単位：百万円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	(比率)
予算現額	1,294,707	1,218,115	76,592	6.3
支出済額	1,237,829	1,165,356	72,473	6.2
執行率	95.6	95.7	△0.1ポイント	—
不用額	56,878	52,759	4,119	7.8

- ・支出済額は1兆2,378億2,900万円で、執行率は95.6%となっている。
- ・前年度比で、支出済額は724億7,300万円(6.2%)の増となっている。

○総務費は3,100万円の増

- ・一般管理費が1,500万円の増、電子計算費1,600万円の増となっている。

○保険給付費は316億900万円の増

- ・療養給付費等が296億1,700万円の増、高額療養費等が17億3,400万円の増、葬祭費等が2億5,800万円の増となっている。

○特別高額医療費共同事業拠出金は1億3,000万円の増

○保健事業費は3億7,100万円の増

- ・健康診査費等が1億5,400万円の増、保健・介護予防の一体的実施事業費が1億8,100万円の増、その他健康保持増進費が3,600万円の増。

○基金積立金は141億8,000万円の増

○諸支出金は261億5,200万円の増

(不用額)

- ・不用額は568億7,800万円で、前年度比で41億1,900万円(7.8%)の増となっている。
- ・内訳は、総務費が3億3,700万円、保険給付費が553億6,300万円、特別高額医療費共同事業拠出金が1億1,700万円、保健事業費が10億4,600万円、予備費が1,500万円となっている。

第6 実質収支に関する調書

決算書及び関係帳簿と照合したところ、計数は正確であると認められた。

第7 財産に関する調書

① 物 品

備品台帳等と照合したところ、計数が正確であることが認められた。

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高		決算年度末 現在高
		(増) 台	(減) 台	
液晶テレビ	1 台	0 台	0 台	1 台
パーソナルコンピュータ	13	0	0	13
電話交換機	1	0	0	1
金庫	1	0	0	1
財務・給与システムソフトウェア	5	0	0	5
財務・給与システムサーバー式	1	0	0	1
電算処理システム用APサーバー式	1	0	0	1
サーバラック	34	0	0	34
ビデオカメラ	2	0	0	2
プロジェクター	1	0	0	1
インテリジェントスイッチ	1	0	0	1
サーバ室エアコン	2	0	0	2
スライド収納式書庫	1	0	0	1

(取得価格1品10万円以上)

②基金

医療給付費準備基金については、財政の健全な運営を図り、医療給付等に要する費用の財源に充てることを目的に設置している。

決算年度中の増減は99億424万2千円の増で、これは保険給付費に係る基金への積み立て及び令和2年度及び3年度の保険料改定にあたり、保険料激変緩和のための基金の取り崩しによるものである。

(後期高齢者医療給付費準備基金)

(単位：千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
現 金	9,201,672	9,904,242	19,105,914

第 8 意 見

(1) 確認した事実等

- ・大阪府内の後期高齢者医療制度の被保険者数は、令和 4 年 4 月現在、約 120 万人で、平成 20 年の制度施行時と比較して約 48 万人増加し、1.6 倍以上の伸びとなっている。
- ・保険料収納率は、収納対策の取組みの強化等により、令和 3 年度は 99.51 % となり、前年度比で 0.04 ポイント上昇している。
- ・医療給付の返還金等について、約 5 億 6,100 万円の収入未済額が生じている。
- ・被保険者の健康を保持増進し医療費適正化を図るため、市町村と連携した高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施、健康診査、ジェネリック医薬品利用促進等の事業を実施している。
- ・健康診査の令和 3 年度受診率は 20.88% で、前年度比で 1.46 ポイント上昇している。
- ・同じく歯科健康診査の令和 3 年度受診率は 11.92% で、前年度比で 0.14 ポイント上昇している。

(2) 意 見

- ・今後も高齢化の進展に伴い被保険者数は増加すると見込まれることから、引き続き、事務処理の効率的な執行に努めるとともに、国、府及び市町村と連携し、制度の安定した運営に取り組まれない。
- ・広域連合においては、市町村の保険料収納対策の支援等により、さらなる保険料収入の確保に努められたい。
- ・保険医療機関等への診療報酬に係る債権については、公平性の確保を図るため、債権管理条例に基づいた債権管理の強化及び回収に努められたい。
- ・被保険者の負担軽減及び医療費適正化を推進するため、引き続きジェネリック医薬品の利用促進に努められたい。
- ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施について、更に市町村と連携を図りながら取組みを推進されたい。
- ・健康診査及び歯科健康診査の受診率の向上を図るとともに、医療費適正化等の取組みを推進されたい。

一般・後期高齢者医療特別会計決算審査資料

別表第1	一般会計款別歳入歳出決算状況	12
別表第2	後期高齢者医療特別会計款別歳入歳出決算状況	14

【歳入（一般会計）】

	予算現額 (A)		調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	
		構成比		構成比			構成比
分担金及び負担金	202,525	92.6	202,525	92.5	100.0	202,525	92.5
国庫支出金	1,520	0.7	1,705	0.8	112.2	1,705	0.8
寄付金	1	0.0	0	—	—	0	—
繰越金	14,567	6.7	14,567	6.7	100.0	14,567	6.7
諸収入	121	0.1	31	0.0	25.6	31	0.0
	218,734	100.0	218,828	100.0	100.0	218,828	100.0

【歳出（一般会計）】

	予算現額 (A)		支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比		構成比	
議会費	1,578	0.7	1,307	0.7	82.8
総務費	212,149	97.0	193,047	99.2	91.0
予備費	4,780	2.2	0	—	0.0
諸支出金	227	0.1	227	0.1	100.0
	218,734	100.0	194,581	100.0	89.0

入 歳 出 決 算 状 況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)		未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
				構成比			
100.0	100.0	0	0	—	—	181,523	21,002
112.2	100.0	0	0	—	—	2,584	△ 879
—	—	0	0	—	—	0	0
100.0	100.0	0	0	—	—	13,728	839
25.6	100.0	0	0	—	—	35	△ 4
100.0	100.0	0	0	—	—	197,870	20,958

不用額 (C)	不用額比率 (C/A)		前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
	構成比			
271	1.1	17.2	1,440	△ 133
19,102	79.1	9.0	181,841	11,206
4,780	19.8	100.0	0	0
0	0.0	0.0	22	205
24,153	100.0	11.0	183,303	11,278

【歳入（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)		調定額 (B)		調定率 (B/A)	収入済額 (C)	
		構成比		構成比			構成比
市町村支出金	229,230,437	17.7	226,783,463	17.7	98.9	226,783,463	17.7
国庫支出金	386,004,317	29.8	394,219,156	30.7	102.1	394,219,156	30.7
府支出金	102,405,453	7.9	101,187,989	7.9	98.8	101,187,989	7.9
支払基金交付金	503,926,000	38.9	487,724,356	38.0	96.8	487,724,356	38.0
特別高額医療費 共同事業交付金	872,861	0.1	846,237	0.1	96.9	846,237	0.1
財産収入	3,670	0.0	3,670	0.0	100.0	3,670	0.0
寄附金	1	0.0	0	—	—	0	—
繰入金	8,632,602	0.7	8,500,000	0.7	98.5	8,500,000	0.7
繰越金	61,920,120	4.8	61,920,121	4.8	100.0	61,920,121	4.8
諸収入	1,711,058	0.1	1,969,328	0.2	115.1	1,390,003	0.1
	1,294,706,519	100.0	1,283,154,320	100.0	99.1	1,282,574,995	100.0

【歳出（後期高齢者医療特別会計）】

	予算現額 (A)		支出済額 (B)		予算執行率 (B/A)
		構成比		構成比	
総務費	2,979,419	0.2	2,641,816	0.2	88.7
保険給付費	1,224,642,517	94.6	1,169,280,167	94.5	95.5
特別高額医療費 共同事業拠出金	873,456	0.1	757,233	0.1	86.7
保健事業費	4,521,495	0.3	3,475,702	0.3	76.9
基金積立金	18,404,242	1.4	18,404,242	1.5	100.0
諸支出金	43,270,390	3.3	43,269,447	3.5	100.0
予備費	15,000	0.0	0	—	—
	1,294,706,519	100.0	1,237,828,607	100.0	95.6

款別歳入歳出決算状況

(単位：千円、%)

予算執行率 (C/A)	収入率 (C/B)	不納欠損額 (D)	収入未済額 (E)		未収率 (E/B)	前年度 収入済額 (F)	増減 (C-F)
				構成比			
98.9	100.0	0	0	—	—	223,265,544	3,517,919
102.1	100.0	0	0	—	—	399,893,414	△ 5,674,258
98.8	100.0	0	0	—	—	98,302,011	2,885,978
96.8	100.0	0	0	—	—	474,361,936	13,362,420
96.9	100.0	0	0	—	—	621,591	224,646
100.0	100.0	0	0	—	—	3,730	△ 60
—	—	0	0	—	—	0	0
98.5	100.0	0	0	—	—	8,500,000	0
100.0	100.0	0	0	—	—	20,929,595	40,990,526
81.2	70.6	18,580	560,745	100.0	28.5	1,398,443	△ 8,440
99.1	100.0	18,580	560,745	100.0	0.0	1,227,276,264	55,298,731

不用額 (C)	不用額比率 (C/A)		前年度 支出済額 (D)	増減 (B-D)
	構成比			
337,603	0.6	11.3	2,611,497	30,319
55,362,350	97.3	4.5	1,137,670,792	31,609,375
116,223	0.2	13.3	627,344	129,889
1,045,793	1.8	23.1	3,105,362	370,340
0	—	—	4,223,536	14,180,706
943	0.0	0.0	17,117,613	26,151,834
15,000	0.0	100.0	0	0
56,877,912	100.0	4.4	1,165,356,144	72,472,463